

# 慶和園



## 初心を忘れず…ユニットケア研修



慶和園では10月18日に「ユニットケア研修」を行いました。老人ホームの成り立ちやユニットケアの在り方について学び、初心に戻って改めて考えるいい機会となりました。グループワークでは「自分だったら慶和園に入居したいか」「どんな施設だったら入居したいか」などの議題で話し合いを行い、「〇〇ユニットだったら入りたい」「自分の好きな生活が出来るなら入りたい」など様々な意見が出ました。根本的な部分を見つめ直すとても有意義な研修となりました。



### ユニットの雰囲気・ご利用者の様子をご紹介



10月31日にきょうごく・しりべつユニットでは毎年恒例の秋の食事会企画を実施しました。事前に何が食べたいか聞き取りを行うと「何でもいいよ」と言いながらも大半の御利用者が「肉が食べたい！」との返答、鍋やすき焼き…色々な意見が出ましたが多数決でジンギスカンになりました。

食事会当日、そろそろ食事を食べようとホットプレートの蓋を開けた途端「え～なんで？」ブレーカーが上がってしまい電気が入っていない…そんなトラブルもありましたが皆さん食事は楽しく美味しく召し上がって頂け印象深い食事会になりました。

『慶和園だより』NO.274 令和5年11月10日発行

〒044-0132 號田郡京極町字更進780番地1  
TEL(0136)42-2201 FAX(0136)42-2209

編集発行：老人福祉施設 慶和園 広報委員会  
発行責任者：施設長 滝谷 剛

※「慶和園だより」に掲載の個人情報は、ご本人もしくは、ご家族様の許可を得て使用させて頂いております。

◎今月の羊蹄山：昨年撮影した写真ですが、羊蹄山に雪が積もった時に綺麗だと思い写真を撮りました。 イマン介護員

管理栄養士の  
古森職員から

しょくづ  
食の取り組み  
通信

広報委員でもある  
古森職員から

## 慶和園 特別食のいろいろ!!

今月11月23日は【赤飯の日】です！

おめでたい日やお祝いごとのある日によく食べられているお赤飯ですが、赤色には昔から災いを避ける力があると言われていました。収穫を祝い、勤労やお互いへの感謝の気持ちを込めてお赤飯は食べられ、その習慣が伝統として今も受け継がれています。慶和園でも以前ご紹介したセレクト食の他に、毎月 赤飯の日・寿司の日・変わりご飯の日・季節の行事食の日 があります。お赤飯一つとっても、豆の種類や家庭の味、地域性と多様であり、「懐かしい」「私が食べてきた味とは違う」など様々な声が聞かれますが、そういったことも含めて日本の伝統や行事、季節を食事を通して感じて頂けたら嬉しく思います。



## -慶和園運営方針-

・慶和園はひとつ。ご利用者・職員で慶(喜)びの和を大切にします。

－私たちは、チームでご利用者の想いを実現させます－

・慶和園は一人ひとりを大切にします。

－私たちは、自分以外の全ての人に真心をもって親切丁寧に接します。

・慶和園は地域とのつながりを大切にします。

－私たちは、地域における役割を理解し信頼を得られる行動をとります。



## 各セクション紹介 2023

### 【感染症対策委員会】

# 「出さない、拡げない、早期終息」

今年度も各ユニットからの情報発信を通じて、慶和園のことを知りたい機会を設けて行きたいと思います。

毎月リレー方式で各ユニット(各委員会)の紹介をさせていただきます。

今月は「感染症対策委員会」からの紹介です。



慶和園における感染症委員会のご紹介をさせていただきます。感染症委員会は看護師、介護員、支援員、相談員で構成されています。今年度の活動内容としては、新型コロナウイルスやインフルエンザの発症、流行などに合わせて随時開催される施設の緊急感染症委員会への参加と情報共有、周知。そして年2回の勉強会の実施です。1回目となる勉強会では外部講師を招き7月の暑い時期に合わせ、「食中毒」に関する内容を取り扱い、職員が注意、意識すべきポイントなど学ぶ事ができました。2回目は、新型コロナウイルス、インフルエンザ、ノロウイルスに関する勉強会を年内に予定しており、吐物処理やガウンの正しい着脱方法について、全職員が習得できることを目指します。このように感染症に関する活動を通じて【出さない、拡げない、早期終息】の取組みをすすめています。



慶和園クイズ！今月は、

### 用務員からの Question !



～安全な車両運行を心がけています！～  
次の内容で正しいのはどっち？



① 1ヶ月の受診送迎回数は？

- A 約10~20回
- B 約20~30回



② 慶和園に園車は何台ある？

- A 4台
- B 3台



③ 慶和園のワゴン車の

1ヶ月の走行距離は？

- A 約2000km
- B 約1600km

### 【ご厚志に感謝いたします。】

10月1日～31日分 ≪順不同・敬称略≫

【寄付物品】京極調剤薬局(京極町)-大木容子(同)-グループホームしらかば(同-きょうこそ(同)-佐藤 明(同)-若狭郁也(同)-村上紀子(俱知安町)-小谷かつえ(同)-佐々木美恵子(同)-熱海京子(札幌市)-境田昌恵(同)-青柳久(同)-山 克己(同)-日本ガード(同)-渡辺時枝(同)-森澤佳子(同)-堀越勝義(同)-高橋玲子(同)-真狩羊蹄園(真狩村)-佐藤哲明(伊達市)--小岩 博(岩内町)-工藤敦子(黒松内町)-金 博子(恵庭市)-三浦幸子(函館市)-佐藤理恵(帶広市)-道下民子(東京都)

【寄付金】三浦幸子(函館市)-佐藤哲明(伊達市) 以上

### 【2023年11月10日～12月の行事予定】

【11月】

11・12・13・27 出張理容

【12月】

31日 大晦日

※毎週水曜日 畑ぐらぶ 毎週木曜日 ちよこっと体操

Question ! の答え

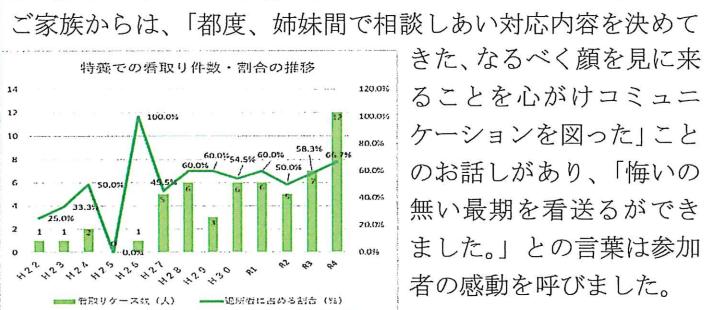
正解は…①A ②A ③B でした！

### 11.3 ご家族との懇談会

## ご家族が語る～お看取りケースの体験談～



11月3日、今年度2回目のご家族との懇談会を開催致しました。今回のテーマは「看取りケア」について。ここ数年、施設でのお看取りを選択される方も増えていることを踏まえ、当園における取り組み（看取りケアのプロセス等）をご紹介。その後、実際に慶和園でのお看取りを経験されたご家族（娘様2名）より、体験談をお話しいただきました。



### ～相手の心を想う～副施設長が考えたこと。

先日バラエティー番組を観ていて、食堂の駐車場係の人の仕事ぶりに深く感銘を受けました。身振り手振りでお客様の車を誘導する様子はとてもユーモラスで最初笑って観ていましたが「今日ここを選んでくださいましたお客様に感謝の気持ちでやらせて頂いています」と汗だくになり満面の笑みで接客する姿、接客されるお客様も皆、笑顔溢れる映像を見て「この人と一緒に働きたいな」と言葉がつい出ていました。介護職の離職を止めるため賃金アップがされるとか。もちろんお金は大切だけれどもお金だけじゃないものもあるよな…あったよな…と思ってみたり。やはりせっかく働くのであれば、楽しく気持ちよく！そういうするには自分次第であると腹落ちしました。副施設長 山中幸代